資料１－３

平成 22 年度　海上の森自然環境保全地域の維持管理について

１　シデコブシの保全

海上の森自然環境保全地域のシデコブシは、周辺樹木の生育が進んだことにより日照が不足し、開花や結実が行われにくくなっており、その生育が懸念される状況にあった。

そのため、従前から継続的にシデコブシの調査を行っている名古屋大学と協働してH19年度よりシデコブシを被陰している樹木を試験的に間伐し、その影響を調査している。

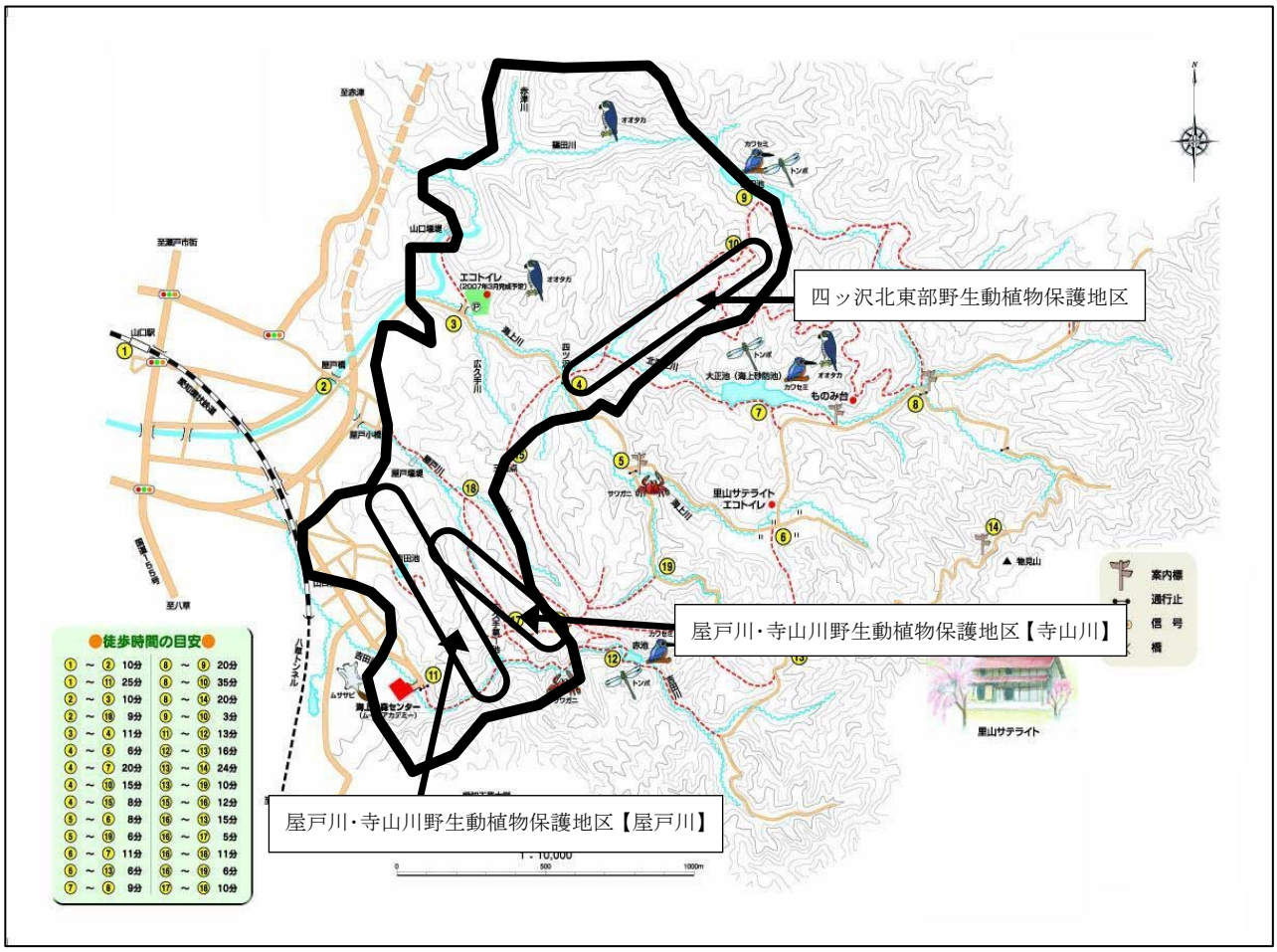
昨年度までの調査に基づき、今年度は他の生育地でも間伐を行う予定であったが、間伐による繁殖状況の改善効果について、引き続き調査を要すると判断したため、今年度も繁殖状況調査を実施する。

○　実施場所：屋戸川・寺山川野生動植物保護地区内の寺山川流域 4 箇所

２　スミレサイシンの保全

海上の森自然環境保全地域は、県内で唯一のスミレサイシンの生育地であるが、モウソウチクによる被陰、チヂミザサの繁茂及び採取圧により、生育が懸念される状況にあった。

そのため、昨年度（H21 年度）に生育地を柵で囲うとともに周囲のモウソウチクやチヂミザサを排除した。

今年度も 9 月に海上の森の会と協働してチヂミザサ等の除草を行った。

○　実施場所：四ッ沢北東部野生動植物保護地区